

# 議会だより

6月定例会 No.40  
平成27年7月30日

発行 石川県志賀町議会

# ししか



	ページ
新正副議長を選出 .....	2
議会構成決まる .....	3
町振興サービス解散へ .....	7
ごみシールの多様化を(一般質問) .....	8
グループ紹介 志賀町B&G水泳教室 .....	12

**ゴールめがけて**  
(富来中学校ホッケー部)

# 町発展のため全力で取り組む

## ◆◆◆ 新正副議長を選出 ◆◆◆



固い握手を交わす越後議長(右)と寺井副議長(左)

議長(第8代) **越後敏明**  
えちごとしあき  
66歳4期 大島

【経歴】副議長、総務常任委員会委員長、産業建設常任委員会委員長、議会広報特別委員会委員長などを歴任

ごあいさつ

伝統ある志賀町議会議長に議員各位のご推挙により当選させていただきました。議長の大役は私にとりまして誠に光栄なことであると同時に、責任の重さを痛感しております。この上は町発展に向け、住みよいまちづくりへ全力で職務を全うしていきたいと思っております。何分にも浅学非才の身なれば議員各位及び町執行部、そして町民の皆様方のさらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

副議長(第9代) **寺井 強**  
てらい つよし

60歳2期 富来領家町

【経歴】教育民生常任委員会副委員長、決算特別委員会委員長などを歴任

ごあいさつ

名誉ある志賀町議会議長の席に就かせていただくことに身が引き締まる思いであります。今後は、議長の補佐役として微力ではございますが、志賀町及び志賀町議会発展のため適進して参りたいと決意しておりますので、どうかご指導ご協力を切にお願い申し上げます。

# 議会構成決まる

今回の議員改選後に初めて開催された議会（5月8日開催、平成27年第2回臨時会）において、新しく志賀町議会組織の構成が決定しました。



寺井 強委員



稲岡健太郎委員



中谷松助委員



南正紀副委員長



田中正文委員長

役場内部事務や社会  
基盤、地場産業にか  
かる分野を所管する

## 総務産業建設 常任委員会



戸坂忠寸計委員



林 一夫委員



須磨隆正委員



福田晃悦副委員長



久木拓栄委員長

教育や住民の暮らし  
にかかる分野を所管  
する

## 教育民生 常任委員会



下池外巳造委員



南 政夫委員



堂下健一委員



櫻井俊一委員



富澤軒康委員



越後敏明委員

南正紀委員

福田委員

中谷委員

下池委員

堂下委員

寺井委員

富澤委員

田中委員

須磨委員

戸坂委員

林 委員

櫻井委員

(※議長を除く全議員)

久木委員



稲岡副委員長



南政夫委員長

当初予算、補正予算  
決算にかかる分野を  
所管する

## 予算決算 常任委員会



田中委員



櫻井委員



林 委員



富澤副委員長



戸坂委員長

議長の諮問事項や議  
会運営にかかる分野  
を所管する

## 議会運営委員会

## 原子力発電所対策 特別委員会

志賀原子力発電所に  
かかる対策を所管す  
る



林委員長



富澤副委員長

稲岡委員 福田委員 中谷委員  
堂下委員 寺井委員 南正紀委員  
須磨委員 下池委員 南政夫委員  
戸坂委員 櫻井委員 田中委員  
(※議長を除く全議員) 久木委員

## 定住対策 特別委員会

人口流出・定住促進  
にかかる対策を所管  
する



福田委員長

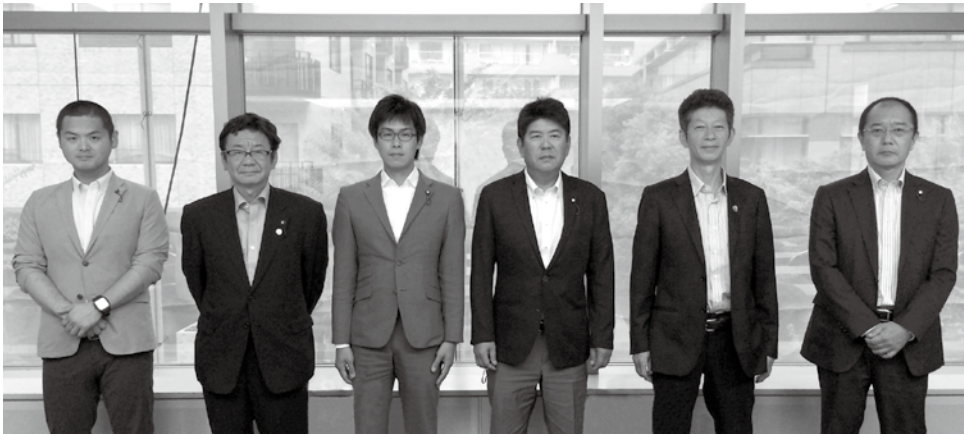


稲岡副委員長

寺井委員 南正紀委員 中谷委員  
富澤委員 南政夫委員 堂下委員

## 議会広報特別委員会

議会だよりの編集・作成にかかる事項を  
所管する



福田委員 南政夫委員 稲岡委員長 寺井副委員長 富澤委員 南正紀委員

## 広域圏議会議員に5氏

羽咋郡市広域圏事務組合議会議員選  
挙が行われ、次の5氏が当選しました。  
久木拓栄、戸坂忠寸計、林 一夫、  
櫻井俊一、田中正文

また、石川県後期高齢者医療広域連  
合議会議員には、越後敏明議長が選挙  
で選ばれました。

### 議会選出監査委員に

### 櫻井俊一議員を選任



町の金銭支出や事業  
などを専門的視点で監  
査を行うため、志賀町  
には2名の監査委員が設  
置されています。一人

は民間等で見識を有する方、もう一人は議会から選  
出することになっています。

議会からは、前任であった戸坂忠寸計議員が辞職  
したため、このほど新たに町長が櫻井俊一議員を監  
査委員に選任し、議会がこれに同意しました。

## 第2回臨時会

# 専決処分14件を承認

平成26年度各会計別補正後の総額

一般会計	143億8274万円
国民健康保険	27億7142万円
後期高齢者医療	3億1572万円
農業集落排水事業	5億209万円
公共下水道事業	9億9744万円
地域し尿処理施設	5571万円
簡易水道事業	1545万円
介護保険	26億188万円
診療所事業	1億7102万円
ケーブルテレビ事業	4億4990万円

※万円未満は四捨五入

改選後初の議会となる第2回臨時会が5月8日に開会され、町長専決処分（議会の議決を経ずに町長が決定できる権限）にかかる報告案件14件が提出され、それぞれ承認されました。

地方税法等の法改正に伴い関係条例を改正

志賀町税条例では、ふるさと納税の寄付金税額控除の見直しや軽自動車税の税率引き上げ時期の延期、国民健康保険税条例では、課税限度額の引き上げや軽減世帯の所得判定基準を緩和し、中間所得者層の負担軽減などの改正が行われました。

## 第2回定例会（6月定例会）

# 議案8件、請願1件を可決

6月2日から16日までの15日間、6月定例会が開催され、町長提出議案6件、請願2件、議会議案2件が提出され、請願1件を除く案件は、それぞれ可決・採択されました。

## 予算の補正

平成27年度の一般会計補正予算は、国の追加事業採択等により5961万円を増額し、総額を歳入歳出それぞれ150億7961万円とするもので、農業集落排水事業特別会計は県補助金の割り当て確定により4000万円を増額し、総額を5億1874万円とするものです。

## 工事の契約

工業（株）と9972万円です。それぞれ工事請負契約を締結します。

町のケーブルテレビに付帯する町内無料電話（8番電話）などの設備である「IP告知放送設備等更新工事」を金沢市の日本電気（株）北陸支社と1億908万円で、建設工事が進む志賀小学校の「家具整備工事」を石田

また、本年第1回臨時会で議決された「志賀町定住促進住宅地造成事業Cブロック（その1）工事」について、工事区域の湧水対策に837万円を増額し、池田建設工業（株）と契約額を5992万円に変更します。



IP告知放送設備

# 総務産業建設常任委員会

委員長	田中 正文	委員	中谷 松助
副委員長	南 正紀	〃	稲岡健太郎
		〃	寺井 強
		〃	須磨 隆正
		〃	林 一夫
		〃	戸坂忠寸計

## 「平和安全法整備法」および「国際平和支援法」関連法案の撤回を求める意見書を政府に送付する請願書

紹介議員：中谷松助

### 【請願趣旨】

政府が今国会に上程した新たな安全保障法制は、憲法をないがしろにし、日米安保条約にも反するものです。首相は、米議会演説で「夏までに成就させる」と言明しました。国会軽視もはなはだしい対応といえます。

一連の安全保障法制は、18年ぶりに改訂された「日米軍事協力の指針（ガイドライン）」で、平時から米軍の指揮権のもと自衛隊がいつでもどこにでも出向いて戦争ができる体制を作りあげるものです。自衛隊は発足後、他国の人を傷つけず、一人の犠牲者も出していないのは、憲法9条のもと、「海外で武力行使をしてはならない」歯止めがあるからに他なりません。憲法違反の「平和安全法制整備法」および「国際平和支援法」を認めることはできません。すみやかな撤回と憲法9条の遵守を求めるため、政府へ意見書の提出を求める請願です。

賛成少数により  
請願を不採択

# 教育民生常任委員会

委員長	久木 拓米	委員	堂下 健一
副委員長	福田 晃悦	〃	南 政夫
		〃	下池外巳造
		〃	越後 敏明
		〃	富澤 軒康
		〃	櫻井 俊一

全会一致で請願を採択

## 国の教育予算を拡充することについて

紹介議員：堂下健一

### 【請願趣旨】

OECD（経済協力開発機構：加盟34カ国）の調査（2014年）によると、日本のGDP（国内総生産）比に占める教育機関への公的財政支出の割合は3.6%（OECD平均：5.3%）と、データのある約30カ国中最下位（5年連続）です。また、1学級あたりの平均児童生徒数は、小学校27.7人、中学校32.6人とOECD諸国に比べ多い状況で、一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行うためには、1学級あたりの人数を少なくすることをはじめ、計画的な教職員定数の改善が必要です。

このため、2016年度政府の概算要求に向けて下記事項の実現について、国・関係機関へ意見書の提出を願う請願です。

- ゆたかな教育環境を整備するため、35人以下学級を完結すること。
- 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の拡充を図ること。
- 教材備品・修繕費等、(校舎の耐震化)、学校教育環境の整備充実に必要な予算措置を行うこと。
- 子どもと向き合える時間確保ができるよう、教職員の定数改善や事務負担の軽減を行うこと。

# 予算決算常任委員会

委員長	南 政夫	委員	須田 隆正
副委員長	岡 健太郎	委員	磨中 正軒
委員	谷 松助	委員	富澤 俊一
委員	中 福田 晃正	委員	櫻井 一夫
委員	南 寺井 強	委員	林 忠寸
委員	下 堂 健一	委員	戸 坂 拓
委員	下 池 外 巳 造		



富来地域の穀倉拠点となるライスセンター

## ライスセンター改修 JAの負担は

**質疑** 増穂ライスセンター改修事業の算定根拠はどうなっているのか。JAはどれだけ負担するようになるのか。

**答弁** 志賀町農業共同利用施設等改修事業費補助金交付要綱に基づいて支払うもので、補助対象経費の30%を町が補助し、残り70%はJAが出すことになる。

**質疑** 予算書で起債（町の借入金）の借入利率が4.5%以内となっているが、この金利は高すぎるのではないか。

**答弁** 予算書に定義する利率の限度額が4.5%となっている。これは、金利の上昇が考えられることと各市町村の状況を確認しながら定義している。ちなみに、26年度に借り入れた起債については、0.3〜0.5%くらいの利率で、年数の長いものでも1.2%くらいである。4.5%というのは、あくまでも上限と理解願いたい。

# 町振興サービス解散へ 全員協議会で説明

6月12日に開催された議会全員協議会で、富来地域の観光施設と株志賀町振興サービスの今後について、町側から説明を受けました。

① 富来サイクリングターミナルの閉館  
行政改革により、平成29年3月で閉館する計画でしたが、施設の老朽化と料理長の定年退職により、これを1年前倒し、28年3月末で閉館します。

② 能登リゾートエリア増穂浦の譲渡  
近年の利用者の減少に苦慮していたところ、施設の地権者である相神区から管理運営を望む声があり、大島キャンプ場のような地元密着型が効率的な運営につながるものと判断し、(株)志賀町振興サービスと28年3月末で指定管理をとりやめ、新たな会社に施設を無償で譲渡します。

**質疑** リゾートの譲渡後に改修要望が出ないか。

**答弁** 譲渡後、町はお金を出さないと伝えてある。

③ (株)志賀町振興サービスの解散  
観光施設の指定管理がなくなり、収益性のない業務が中心となることから、28年3月末で当社を解散し、委託業務を他の団体に移行します。

**質疑** 振興サービスの解散で、現従業員はどうなるのか。

**答弁** 従業員は解雇となる。本人が希望すれば、業務を引き継ぐ会社に雇用をお願いする。

**質疑** 富来地域の振興を考えると、いかなるものか。

**答弁** 最善の方法とされている。富来地域の振興は当然考えていかなければならない。

## ごみシールの多様化を

## 見直しを検討する 町長



福田 晃悦 議員

**福田** 県内で家庭ごみを有料化している自治体で、ごみのサイズ区分を行っていない自治体は本町のみである。本町でも、可燃ごみシールのサイズ対応を図るべきだ。

**町長** 1枚30円は、アンケートをもとに、県内で最も安い価格に合わせたものであり、ごみ袋のサ

イズによるシールの価格設定は、住民がサイズ別にシールを貼り分けなければならず、混乱が生じる恐れがあるため導入をしなかった。今後は、独り暮らしや核家族といった世帯構成の変化などを踏まえ、サイズ別指定ごみ袋の導入や、ごみ処理手数料の見直しを含めて検討をしていきたい。



現在は一種の可燃ごみシール

## 新幹線観光ニーズに努力を

## 研修会を実施している

町長



熱気あふれる西海祭り

トで本町を検索される方を研修している。

また、近年のニーズに 대응するため、今年度、道の駅や巖門などに、Wi-Fi（ワイファイ）屋外でのインターネット接続環境）整備や外国語を標記した看板を整備する。体験型の観光施策では、西海祭りに一般の方々にも体験していただくことを検討している。

## その他の質問

**福田** 新たな地方公会計の整備促進について、本町の取り組み計画は。

**町長** 観光施策利用者に行ったアンケートで得られたニーズに応えるため、観光関連の方々に研修会を実施しており、今年度も、情報発信方法やネッ

**企画財政課長** 来年度以降に本格的な固定資産台帳を整備し、平成29年度を目標に、統一基準による地方公会計整備を進めていきたい。



## 安全保障法案を廃案に

### 国政で議論されるもの

町長



中谷 松助 議員

**中谷** 安全保障関連法案という名の戦争法案は、すべて自衛隊の役割を拡大して、海外派兵や米軍の支援にあてるためのものである。

地理的な制限もなく、地球上どこへでも派兵して米軍のあらゆる戦争に参加する。戦地で活動するため、自衛隊が攻撃される危険がある。自衛隊が武器を使用して反撃すれば戦闘になる。自衛隊が殺し殺される状況に陥る危険が飛躍的に高まる。このように、この法案は、二度と海外で戦争はしないと誓った憲法の平和原則を根本から破壊し、日本をアメリカとともに海外で戦争する国に作り変えるものである。このようなものが、憲法9条の下で許されていないはずがない。



6月4日の衆院憲法審査会で自民党が推薦した憲法学者3氏がそろって憲法違反との認識を表明しており、この一点をみても、この法案は廃案にするしかないと確信する町長としての、この法案に対する所見を伺う。

**町長** 平和安全法制は、国政の場で十分に議論されるべきものだと考えている。

## 原発再稼働を断念させ廃炉を

### 適合審査を注意深く見守る

町長

**中谷** 5月13日の原子力規制委員会有識者会合は、志賀原発1号機原子炉建屋直下を通るS・1断層等について、活断層の可能性を否定できないとする見解で一致した。

新規基準は、活断層の上に原発の重要施設を設置することを認めていない。

活断層を否定できないのであれば、志賀原発1号機の再稼働はできないことになる。志賀町として北陸電力に対して、1号機、2号機の再稼働を断念させ、廃炉を求めるべきではないか。

**町長** 現段階では拙速な判断をすることなく、適合審査の状況を注意深く見守っていききたい。

#### その他の質問

**中谷** 子供の医療費病院窓口無料化を。

**住民課長** 窓口無料化は考えていない。

**中谷** 新たな住宅リフォーム助成を。

**まち整備課長** 新たな助成制度は考えていない。

**中谷** 一般会計からの繰り入れで国保・介護保険料を引き下げよ。

**住民・健康福祉課長** 国の基準を超える繰り入れはできない。負担の公平性や特別会計の性格上、加入者に応分の負担を願う。

**中谷** 米価保証を国に求め、ワイヤーメッシュでイノシシを防げ。

**農林水産課長** 国・県と連携し農家を支援していく。イノシシは捕獲に力を入れる。

# 特別委員会提言の活用は

## 人口ビジョンで考慮する 町長



南 正紀 議員

**【南正】** 本年3月に提出した定住対策特別委員会の提言を町長はどう受け止めて、活用していくのか。

また、志賀町創生総合戦略等策定体制におけるコンサルタントの位置づけはどのようなものか。

創生総合戦略等策定委員会、地域創生本部、ワーキンググループが主体となつて、コンサルタントの追認組織となることなく、活動すべきであると考えるが、今回の体制づくりの説明を求める。

**【町長】** 定住対策に関する提言は、貴重な提言と受け止めている。

特に、人口減少の原因に挙げている「若年層の流出、結婚率の低下、少子化の悪循環を断ち、人口減少率の低減を図るため、転出者の抑制と転入者及び結婚・出産数の向上を図る。」ことについては、人口ビジョンのキーワードであると認識しており、十分考慮していきたいと考えている。

コンサルタントは、調査の取りまとめや推計などのサポート役である。策定体制は、産業界、教育機関、金融機関、住民代表等で組織する委員会を設置する。その中で意見を踏まえながら、地域創生本部やワーキンググループを中心となつて、総合戦略を取りまとめていく。

### 創生総合戦略とは・・・

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための目標や施策に関する基本的方向等を定めた計画。

# 道路の維持管理と地域の連携は

## 地元の協力が必要

町長



住民の協力が不可欠な道路の維持管理

**【町長】** 公共施設等総合管理計画を策定し、町が保有する土地、道路などのインフラの現状把握を行い、総合的な管理を計画的に実施していく。

維持管理費の削減には、地元の皆様の協力が必要である。今後も道路愛護などの奉仕作業を、各地域で引き続き実施してもらいたい。

人口減少と高齢化で、人が集まらない地域もあると聞いているが、町としても、できるだけ地元負担とならないよう、重機等の借上げについてさらに充実できるように検討をしていきたいと考えている。

**【南正】** 路側帯の除草作業を地域住民と実施するなど、道路の維持管理費の削減が課題となる。

この冬の積雪で竹木が道路に倒れて交通に支障を期した際に、住民による除去作業が行われた。住民との連携についてどのように考えているか。また、現状の把握と対策についてはどうか。



堂下 健一 議員

物件によっては、有効活用できるものがあり、移住・定住促進策の一端としての抱負を聞きたい。

【堂下】空き家は増えていくことが懸念されている。現在、町内の空き家は、今後「特定空き家（倒壊の恐れや衛生上問題のある空き家）」になっていく可能性が大きい。今後どのような対応を検討していくかが大事である。



危険な空き家（イメージ）

【町長】空家等対策の推進に関する特別措置法が施行された。現在の取り組みは、3月に各区長に空き家の状況調査をお願いしたところ、現在の回答率は約6割で、空き家数は437戸となっている。今後は、報告を取りまとめ、住民代表や学識経験者等で構成する協議会で特定空き家を判断したうえで、所有者への対応をしていく。空き家の利活用は、所有者の了解や建物の改修費用等の問題もあり、現実には難しいのではないかと考えている。

## 空き家の有効活用は 利活用は難しい 町長

## 原発再稼働を断念させ廃炉を

### 適合審査を注意深く見守る

町長

【町長】発電所稼働にかかわらず、固定資産税の減収のほか、景気の状態、人口減少・少子高齢化などにより、今後の町財政が厳しいと予想されることから、行財政改革により、財政健全化を目指す主旨で発言した。また、町長として決断すべき時期に来ているというが、現在、有識者会で破砕帯の評価が行われており、現時点で拙速

【町長】町長は、平成25年第3回定例会の所信表明で、「原発関連の財源に依存しない財政基盤を作り上げるために・・・」と言っている。その時の状況認識として、止まっている原発に對してどのような認識をし、「原発関連の財源に依存しない財政基盤を作りたい」という言葉になったのか。また、いつまでも原発に振り回されていないで決断すべき時期に来ているが。

【町長】発電所稼働にかかわらず、固定資産税の減収のほか、景気の状態、人口減少・少子高齢化などにより、今後の町財政が厳しいと予想されることから、行財政改革により、財政健全化を目指す主旨で発言した。また、町長として決断すべき時期に来ているというが、現在、有識者会で破砕帯の評価が行われており、現時点で拙速

【町長】策定後は効果検証を実施し、必要に応じて見直していく。町民の声は、アンケートやタウンミーティング、パブリックコメント等により、計画に反映させていく。

【町長】策定後は効果検証を実施し、必要に応じて見直していく。町民の声は、アンケートやタウンミーティング、パブリックコメント等により、計画に反映させていく。

【町長】策定後は効果検証を実施し、必要に応じて見直していく。町民の声は、アンケートやタウンミーティング、パブリックコメント等により、計画に反映させていく。



志賀原子力発電所

な判断をすることなく、状況を注意深く見守っていききたい。

### その他の質問

# 志賀町B&G水泳教室

改修され新しくなったプールで日々練習に励み、東京オリンピック出場を目指す志賀町B&G水泳教室にお邪魔し、お話を聞きました。

オリンピックを目指せ!



コーチ 谷場 宣彦 さん

◆発足の経緯は

◇富来B&G海洋センターフレアの開所に伴い、初めはスイミングスクールを中心に行ってきたが、保護者の要望により、2005年から選手コースを設置し、今年で10年になります。

◆会員の構成は

◇初心者コース、育成コース、選手コースがあり、このうち、小学生が3人、中学生が2人、高校生が3人の計8人います。

◆普段の活動は

◇富来B&G海洋センターフレアで火・金曜日までは18時～20時まで練習を行い、土・日曜日は1日2回練習や強化合宿、各種水泳競技大会に参加しています。



全国大会で奮闘する教室生

◆これまでの成績など

◇県内の大会には毎年上位入賞を果たし、全国JOCジュニアオリンピックク春・夏10年連続出場、4位入賞1回、5位入賞

◆今後の計画や目標は

◇今年4月からプールがミズノスポーツに移管され、練習環境が変化し、練習量の確保が難しくなってきましたが、創意工夫をし、2020年の東京オリンピック出場を目標に頑張っていきたいと思っています。

2回、全国中学校水泳競技大会6位入賞、中部ジュニア水泳競技大会1位2回など。

◆最後に一言

◇昨年は、プールの改修工事により練習場所の確保に皆さん協力をいただき



き感謝しております。選手たちが一生懸命練習できるのも皆さんの協力があるからだと思っています。日々の練習の成果が記録に表れる競技ですので、練習環境の充実を図り、最善の状態で大大会に臨めるよう、協力したいと思います。



発行責任者	議長 越後 敏明
議会広報特別委員会	委員長 稲岡健太郎
副委員長	寺井 強
委員	福田 晃悦
	南 正紀
	南 政夫
	富澤 軒康